

あすぶろ「アップルゲート断熱」応援隊

【肌荒れない アップゲー】

女性にとって、肌荒れは大敵です。

肌荒れしない家とは調湿機能があって、常に適度な湿度を保つことができる家です。

特に過乾燥は肌の大敵です。冬の過乾燥は火事の元となります。逆に夏に湿度が高いと、蒸し暑いと感じ、不快になります。

木や漆喰には湿度調整機能がありますが、天井・壁の中にある断熱材の調湿性も重要です。

自然素材のセルロースは木が呼吸するように湿気を吸放出してくれるのです。

室内の温度とともに、**湿度の変化が少ないこと**が、**住み心地に大きな影響**を与えるのです。

アップルゲートセルロースは**アメリカの新聞紙**を原料としていますが、アメリカの新聞紙は**バージンパルプ**でできています。**繊維が長く**、木の**特徴が生きています**。

ところが**日本の新聞紙は再生紙**で、**繊維が短い**のが特徴です。

日本の新聞紙を使ったテストを行いました、アメリカの新聞紙と違って固くなってしまい、



あすぶろは「わたしの手は、だれかの翼。」の理念に共感し、活動する企業を応援しています。

断熱性能が低下するため、アップルゲートでは使用できないという判断をしました。

固くなることで、断熱材に隙間が生じると、その隙間には湿気が集まり、結露の原因となるのです。

これは、グラスウールなど従来の断熱材では顕著です。ウレタン吹付けの場合でも発泡によってふくらみすぎた部分を削ぐ場合、表面のツルツルが無くなって、たくさんの気泡が生じます。

結露は建材を腐食させ、家を傷める大きな原因となるので、絶対に避けなければなりません。

実際の現場では、**バリアとしてのフィルム**を貼って、湿気を通さなくする施工がなされることが多くなっていますが、そうすると**調湿効果は全くありません**。

木の繊維であるセルロースには湿気を吸放出する性質があり、アップルゲートセルロース断熱はそのセルロースを隙間なく高密度で施工することができるので、湿気の流動を抑え、結露を防止します。

あすぶろ「アップルゲート断熱」応援隊

アップルゲートセルロースは結露しない、肌荒れしない断熱材なのです。



あすぶろは「わたしの手は、だれかの翼。」の理念に共感し、活動する企業を応援しています。